



後発白内障について

白内障の手術後半年〜数年かけて、徐々にかすみが強くなってくる場合があります。眼底疾患などがなければ、後発白内障の可能性が高いです。

一般的に白内障手術は人工レンズを眼の中に入れますが、レンズを入れる場所がとくに、もともと白内障になった水晶体を包んでいた

治療は、外来でのレーザーとなり、濁りを眼内に飛ばして、足がかりとなる水晶体囊の後ろ部分を切開します。この影響で、眼圧が上昇したり、飛蚊症、霧視が強くなることもあります。が、一時的です。

白内障術後に視力が落ちたなど感じた際は、再度眼科でチェックしてもらいたくことをお勧めします。



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

は、水晶体上皮細胞の増殖・遊走を阻止する機能もありませんが、それを凌駕する細胞の強さで、水晶体囊が混濁してくる方も多いためです。

☎ **042-439-8123**
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 夜間・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	/
14:00~17:00	検査・診察	手術	/	手術	検査・診察	/	/